2023年度 学校法人 三幸学園 大阪リゾート&スポーツ専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 永山雄一

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

・教育理念、目的、人材育成について

教育理念の生徒・保護者・講師への浸透

・学校運営について

初期教育への強化、通信制高校出身者へのアプローチ強化、退学者への早期対応等

・教育活動

資格検定取得の目的と試験対策

・学修成果

就職を含むキャリア支援の強化

・学生支援

特に卒業生支援の強化

・教育環境

実習先・ボランティアの確保

・学生の受け入れ募集

状況に応じたオープンキャンパスの運営

・社会貢献、地域貢献

地域の方々に向けた学びの提供

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- ・保護者説明会をオンデマンドで作成し、視聴を案内しているが視聴数やアンケート回答数が少ない。
(昨年度から視聴率は改善されているが、目標には到達できていない。)

② 今後の改善方策

- ・入学前から理念や方針を周知する為、保護者へオープンキャンパスで実施している。
- ・保護者説明会への参加を促す。
- ・保護者専用 LINE を導入し、学校理解の促進や情報発信を直接出来る環境を整備する。

③ 特記事項

- ・新入生保護者説明会はオンデマンド化し、一定期間視聴できるようにした。
- ・中長期計画を策定し、2027年度までにどのような学校を目指すのか、そのための課題設定を行った。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

・組織運営の面で意思決定機能があいまいな面がある。

② 今後の改善方策

・権限移譲の範囲を明確化する。

③ 特記事項

・学園として、2023年度に人事制度を大幅改定し、2024年度より運用が開始となっている。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・インターンシップや実習等、実践的な職業教育に参加する生徒が少ない。

② 今後の改善方策

- ・キャリアと関連づけたインターンシップ・実習参加への促し
- ・キャリア教育及び、機能解剖学のテキストを学びやすさを重視した内容に変更
- ・初期段階での資格研修の促し(NESTA)
- ・職員の研修参加(NESTA・R-academy)

③ 特記事項

- ・各学科の2年間・3年間のロードマップを作成し、どの時期に何ができるようになるかという目標を明確化した
- ・資格に関するリファレンスガイドを作成し、授業時やHRなどで活用した
- ・自己学習アプリ「ポケ模型」の導入

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・卒業生の活躍および評価を把握できていない。
- ・目標喪失による退学者が依然として多数いる。

② 今後の改善方策

- ・同窓会を実施するなど卒業生との交流を増やし、卒業生のキャリアなど現状の把握に努める
- ・スポーツ業界に対する興味・関心を持ち続けられる体制づくり
- ・業界内アルバイト(興味関心・キャリア)

③ 特記事項

- ・SNS を活用し、卒業後アンケートの回答促しを実施
- ・1DAY インターンを積極的に開催し、早期から職業理解
- ・早期対策として、心理カウンセラーによる面談の実施
- ・早期の担任発表(3月)
- ・2023.9 同窓会を開催

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・地域のカウンセリングルームはあるが、利用者が少ない(利用がしにくい・ハードルが高い)
- ・卒業生に対する支援策がない(転職求人斡旋ができない)
- ・高校との連携ができていない
- ・多様化する生徒に対する知識及び対応

② 今後の改善方策

- ・校内での相談窓口の設置
- ・高校への職業教育連携
- ・卒業生支援として、2024年度は全学科同窓会を開催する

③ 特記事項

- ・ハイパーQU を利用したクラス・個人状況の把握
- ・卒業生向け公式 LINE の活用
- ・保護者への電話連絡の実施

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・学内 Wi-Fi 環境が不安定
- ・施設、備品等の老朽化

② 今後の改善方策

- ・学内 Wi-Fi の工事を実施
- ・定期的な施設改善と備品の新規購入

③ 特記事項

- ・2号館 PC ルーム(2023 年度設置済み)
- ・3号館マシンルーム(2024 年度 8 月改修予定)
- ・4号館マシンルーム→フリーウェイトルーム(2023 年度設置済み)

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・新設学科、コースへの理解(ITトレーナーコースの新設)
- ・保護者のオープンキャンパスへの参加が少ない。

② 今後の改善方策

- ・オープンキャンパスにて詳細な学科説明会を実施
(スポーツトレーナー科においてはコースが多く、職員の業界理解と学科理解を深めることが最優先)

③ 特記事項

- ・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023年度～2027年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

- ・地域への貢献活動が十分にできていない（コンテンツはあるが周知できておらず、認知度が低い）
- ・学びのアウトプットに繋がるボランティアが少ない

② 今後の改善方策

- ・連携企業とのボランティア内容の見直し・相談
- ・ボランティアの質・量ともに向上を図る

③ 特記事項

- ・授業の一環としてオンラインでのレッスン配信（福祉施設等）を実施